

<コラム>

慶良間は諸島か、列島か？

岩尾 研二

阿嘉島臨海研究所

What is the geographical name for Kerama Islans in Japanese?

K. Iwao

E-mail: iwao@amsl.or.jp

今号の「みどりいし」は、環境省の慶良間自然保護官の岸さんによる国立公園についての記事で始まりました。そして次の記事は、元阿嘉島臨海研究所所長である大森先生の慶良間のさんご礁についての話題です。それぞれのタイトルは、「慶良間諸島国立公園について」と「慶良間列島のさんご礁の現状」。見る人によっては、どうして用語を統一しないのかとお叱りを受けるところです。慶良間諸島と慶良間列島、さてどちらを採用すべきか、「みどりいし」の編集担当者として実はずいぶん考えました。そこでここでは、誌面を借りて、この地名についての私の考えとそれに至るまでの経緯について説明したいと思います。

「みどりいし」のバックナンバーをめくってみると、以前は慶良間が諸島か列島かの区別にはあまり頓着していなかったことが、例えば 1995 年発行の 6 号に、両方の言葉が出てくることからわかります(この号では、久保田・林原の両氏による「慶良間列島阿嘉島へ漂着した多数のチレニアイガイ」と大葉氏による「沖縄県慶良間諸島阿嘉島周辺の海藻相」が同じ目次に並んでいます)。しかし、これ以降、「みどりいし」の誌面からは「慶良間諸島」は姿を消してしまいます。おそらくこの年に、「-列島」を使うという方針が決められたのでしょう。

さて、ではどうして「-列島」に統一したのでしょうか。今となっては、その詳細な事情はわかりませんが、私自身にはいづか根拠がありました。それは、国土地理院発行の地図に「慶良間列島」と書かれていたということです。地名に関して日本で一番権威のある部署は国土地理

院と考えるとよいだろうと思います。そこが「-列島」と言っているのですから、それをういたのです。実はここにも当時(少なくとも 2009 年ごろまで)は少し混乱があり、同じ国土地理院の資料の中にも、ときどき「慶良間諸島」と書かれているものがあつたのですが、ともあれ地図には「-列島」が使われていたので、それを信用しました。そして、その後国土地理院の資料は、すべて「-列島」で統一されるようになったので、安心してそれをういてきました。

ところが、2013 年、翌年に慶良間が国立公園に指定されることになったとき、その名称が「慶良間諸島国立公園」と発表されました。それで、環境省にどうして「-列島」ではないのか尋ねてみたところ、出版された最新の地図帳に「-諸島」と書かれていたためとのことでした。実際には、どちらの表記でも場所を間違うわけではないのですが、これまで「みどりいし」に寄稿していただく際には、「-諸島」を書き換えてすべて「-列島」に統一させてもらっていた者としては、もう一度態度を決めなければならないことになりました。

広辞苑(第 6 版)などの国語辞書には、「諸島」は複数の島の集まり、「列島」は島が連なって並んでいるもの、と書かれており、文部省(奥付のまま)が著作権を所有している各種の「学術用語集」(地理学編や地学編など)には、海洋学編を除くと「諸島」も「列島」も掲載されておらず、唯一海洋学編に「諸島」だけが載っています。これらの辞書などからは、「列島」は、島の集まりを表わす「諸島」という用語の一部で正式なものではないような

印象を受けます。そして、‘慶良間諸島’と‘-列島’のどちらが良く使われているのか、インターネット上のヤフーで検索してみると、‘-諸島’が 434,000 件、‘-列島’が 93,300 件で、前者が圧倒的に多いのですが(2015年3月時点)、ネット上の主な地図サイトでは両方とも2サイトずつで場所を検索することができました(表1:ただし、地図上の表記は6サイトすべてで‘-列島’でした)。また、調べてみると、国土地理院は、変わらず‘-列島’であり、さらに海上保安庁海洋情報部との「地名等の統一に関する連絡協議会」において両者は‘-列島’で合意していることも明らかになりました。

つまり、「諸島」と「列島」という単語はそれぞれ異なる印象を人に抱かせるものの、用語としての区別は明確には定義されておらず、慶良間地域の名称としても日本政府としていずれかに統一させているのではないという状態です。また、慶良間について多くの人は‘-諸島’を好んで使っているけれども、ネット上の地図サイトでは同

等に検索でき、すべてのサイトの地図で(国土地理院に従っているのか)‘-列島’が用いられていました。

こうした事情や実情をふまえて、「みどりいし」編集担当者としては現在次のように考えています。まず、「慶良間諸島国立公園」などの固有名詞に含まれている場合を除き、政府の複数の部署の間で明確に地名として合意に至っている‘慶良間列島’を用いることをこれまでどおり基本としたいと思います。しかし、例えば「慶良間諸島国立公園となった慶良間列島」という表現などは、いかにもまとまりがないので、今後は‘-諸島’の使用を‘-列島’と同等に認め、‘-諸島’の‘-列島’への書き換えはお願いしないことにしたいと思います。この結果、これからは冊子中に‘-諸島’と‘-列島’とが混在することが多くなりますが、読者の皆様にはどうぞご理解いただけますようお願いいたします。なお、この件に関してのご意見や新たな資料などをお持ちでしたら、ぜひお寄せください。

表1 インターネットの地図サイトでの検索の可否と記載地名
○は検索可、×は検索不可。

地図サイト	検 索		地図上の記載
	‘慶良間諸島’	‘慶良間列島’	
Yahoo! 地図	○	×	‘慶良間列島’
Google マップ	○	○	‘慶良間列島’
bing (msn)	×	○	‘慶良間列島’
exite 地図	×	×	‘慶良間列島’
Mapion	×	×	‘慶良間列島’
ゼンリン地図	×	×	‘慶良間列島’